

特別副専攻プログラムに関する取扱要項

(平成25年3月7日学長決裁)

[令和7年3月31日最終改正]

(趣旨)

第1条 この要項は、特別副専攻プログラムに関する規則（平成25年島大規則第2号。以下「規則」という。）第3条の規定に基づき、特別副専攻プログラムにおいて開設するプログラムに関し必要な事項を定める。

(開設プログラム)

第2条 特別副専攻プログラムにおいて開設するプログラム及び修了要件単位数は、次のとおりとする。

- 一 英語高度化プログラム（16単位）
- 二 環境教育プログラム（16単位）
- 三 ジオパーク学プログラム（8単位）
- 四 中国語実用化プログラム（16単位）
- 五 Ruby・OSS履修プログラム（8単位）
- 六 数理・データサイエンス基礎プログラム（8単位）
- 七 数理・データサイエンス専門プログラム（16単位）
- 八 ものづくり人材育成プログラム（8単位）
- 九 自然災害軽減科学プログラム（8単位）
- 十 観光教育プログラム（8単位）
- 十一 フィールド教育プログラム（10単位）

(履修手続)

第3条 前条各号に規定するプログラム（以下「各プログラム」という。）を履修しようとする者は、指定する履修手続期間内に所定の手続きを行わなければならない。

(履修取消)

第4条 各プログラムの履修を取り消そうとする者は、所定の手続きを行わなければならない。

(履修資格・修了要件等)

第5条 各プログラムの履修資格、構成する授業科目、履修方法及び修了要件単位数等並びに規則第4条に規定する履修証明書を交付できる要件等については、別紙に定めるところによる。ただし、同一科目を複数のプログラムの修了要件単位数に含めることはできない。

(既修単位の取扱)

第6条 各プログラム履修登録以前に、当該プログラムを構成する授業科目の単位を修得している場合には、その単位数をプログラム修了要件に含めることができる。

(企画・実施)

第7条 各プログラムの企画・実施は、教学マネジメント委員会教育改善小委員会の下に置く各専門委員会（教学マネジメント委員会教育改善小委員会要項（令和4年4月19日副学長（教育・学生支援担当）決裁）第5条に定める専門委員会等をいう。）において行う。

(事務)

第8条 特別副専攻プログラムに関する事務は、関係各課の協力を得て教育・学生支援部教育企画課において処理する。

(雑則)

第9条 この要項に定めるもののほか、特別副専攻プログラムの実施に関し、必要な事項は別に定める。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から実施する。

附 則 (平成25年5月1日一部改正)

この要項は、平成25年5月1日から実施し、平成25年4月1日から適用する。

附 則 (平成26年2月28日一部改正)

この要項は、平成26年4月1日から実施する。

附 則 (平成26年12月4日一部改正)

1 この要項は、平成26年12月4日から実施し、平成26年4月1日から適用する。

2 前項の規定に関わらず、第2項第4号及び別紙4. 中国語実用化プログラム(16単位)については、平成27年4月1日から適用する。

附 則 (平成27年2月24日一部改正)

この要項は、平成27年4月1日から実施する。

附 則 (平成28年2月2日一部改正)

この要項は、平成28年4月1日から実施する。

附 則 (平成29年2月3日一部改正)

この要項は、平成29年4月1日から実施する。

附 則 (平成29年3月21日一部改正)

この要項は、平成29年4月1日から実施する。

附 則 (平成30年3月20日一部改正)

この要項は、平成30年4月1日から実施する。

附 則 (平成30年6月29日一部改正)

この要項は、平成30年6月29日から実施し、平成30年4月1日から適用する。

附 則 (平成31年2月26日一部改正)

1 この要項は、平成31年4月1日から実施する。ただし、この要項による改正後の島根大学における特別副専攻プログラムに関する取扱要項別紙4の規定は、平成30年4月1日から適用する。

2 この要項による改正後の島根大学における特別副専攻プログラムに関する取扱要項別紙2及び別紙3の履修表のうち、「山と日本人」に関する規定は平成27年4月1日から適用する。

附 則 (平成31年3月26日一部改正)

この要項は、平成31年4月1日から実施する。

附 則 (令和元年5月31日一部改正)

この要項は、令和元年5月31日から実施し、令和元年5月1日から適用する。

附 則 (令和2年3月27日一部改正)

この要項は、令和2年4月1日から実施する。

附 則（令和3年2月22日一部改正）

この要項は、令和3年4月1日から実施する。

附 則（令和3年4月27日一部改正）

この要項は、令和3年4月27日から実施し、令和3年4月1日から適用する。

附 則（令和4年2月24日一部改正）

この要項は、令和4年4月1日から実施する。

附 則（令和4年7月1日一部改正）

この要項は、令和4年7月1日から実施し、令和4年4月19日から適用する。

附 則（令和5年4月3日一部改正）

この要項は、令和5年4月3日から実施し、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和5年5月1日一部改正）

この要項は、令和5年5月1日から実施し、令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和6年3月26日一部改正）

この要項は、令和6年4月1日から実施する。

附 則（令和7年3月12日一部改正）

この要項は、令和7年4月1日から実施する。ただし、この要項による改正後のこの要項別紙（1．英語高度化プログラム）の履修表のうち、令和4年度以前に入学した者に係る「グローバル・アクティビティ」及び「グローバル・キャリア」に関する規定は令和5年4月1日から適用する。

附 則（令和7年3月31日一部改正）

この要項は、令和7年4月1日から実施する。ただし、この要項による改正後のこの要項別紙（10．観光教育プログラム）の履修表のうち、「異文化理解入門A」及び令和4年度以前に入学した者に係る「異文化理解入門」に関する規定は令和5年4月1日から適用する。

別 紙

1. 英語高度化プログラム（16単位）

プログラムの目的

本プログラムでは、将来海外留学や大学院進学、就職等に高度な英語力を必要とする学生を対象にし、その達成目標に応じ、グローバル・エキスパート養成コースとグローバル・リーダー養成コースの2コースを設ける。グローバル・エキスパート養成コースでは、高度な英語コミュニケーション能力を養成するとともに、英語を通して英語圏の文化事情や現代社会の諸課題を学びつつ、グローバル社会で活躍するために必要な資質（グローバル・リテラシー）を身につけることを目的とする。グローバル・リーダー養成コースでは、さらに高度な英語コミュニケーション能力を養成するとともに、異文化理解力を深め、グローバル・リテラシーに加え、グローバル社会におけるリーダーとしての資質（グローバル・リーダーシップ）を身につけることを目的とする。

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。

（グローバル・エキスパート養成コース）

- 一 平成25年度以降に入学し、TOEIC550点相当の英語力を有する者
- 二 上記一号の規定にかかわらず、英語を母語とする学部留学生については、本プログラムを履修することができない。

（グローバル・リーダー養成コース）

- 一 平成25年度以降に入学し、TOEIC650点相当の英語力を有する者
- 二 上記一号の規定にかかわらず、英語を母語とする学部留学生については、本プログラムを履修することができない。

※ 平成29年度以前に入学した者で、すでに英語高度化プログラムの履修登録を行っている者は、履修登録時のTOEICスコアに関わらず、グローバル・エキスパート養成コースに属することとする。

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 本プログラムの履修資格を証明する外国語能力試験の成績等の書類及び修得時期が確認できる書類
- 三 その他本学が必要と認める書類

※履修の途中でコース変更を行う際には、上記に準じて、履修変更手続を行うこととする。

構成する授業科目及び履修方法
次の履修表により履修すること。

グローバル・エキスパートコース履修表

科目区分	分類	授業科目名	単位数	必修	選択					
全学共通教育科目／ 教養育成科目	必修科目群	グローバル・リテラシーセミナーⅠ	2	8	/					
		グローバル・リテラシーセミナーⅡ	2							
		上級TOEICセミナーⅠ	2							
		上級TOEICセミナーⅡ	2							
	異文化理解科目群	選択科目群	国際文化情報A(英語圏)	2	8					
			国際文化情報B(英語圏)	2						
			国際文化情報C(英語圏)	2						
			国際文化情報D(英語圏)	2						
			グローバル・アンダースタンディングA	2						
			グローバル・アンダースタンディングB	2						
			グローバル・インタラクションA	2						
			グローバル・インタラクションB	2						
			クロスカルチュラル・アンダースタンディングA	2						
			クロスカルチュラル・アンダースタンディングB	2						
			グローバル・パースペクティブA	2						
			グローバル・パースペクティブB	2						
			グローバル・リーダーシップ	2						
			グローバル・キャリアA	2						
			グローバル・キャリアB	2						
			グローバル・テーマA	2						
			グローバル・テーマB	2						
			グローバル・テーマセミナーC	2						
			グローバル・テーマセミナーD	2						
			文化比較セミナーA	2						
			文化比較セミナーB	2						
			キャリア&アイデンティティ	2						
			カルチュラル・アイデンティティ	2						
			アカデミック・ スキル科目群	選択科目群			中級英会話A	2	8	
							中級英会話B	2		
							アカデミック・リーディングA	2		
							アカデミック・リーディングB	2		
							アカデミック・ライティングA	2		
							アカデミック・ライティングB	2		
							アカデミック・スピーキングA	2		
	アカデミック・スピーキングB	2								
	アカデミック・リスニングA	2								
	アカデミック・リスニングB	2								
	海外研修 科目群(国外)	選択科目群	英語海外研修 A(ウォータールー大)	2	8					
			英語海外研修 B(アーカンソー大)	2						
			英語海外研修 F(セントラルワシントン大学)	2						
			グローバル・アクティビティーA	2						
			グローバル・アクティビティーB	2						
グローバル・アクティビティーC			2							
グローバル・アクティビティーD			2							
インディビジュアル海外研修			2							
外部試験対策科目群			選択科目群	上級 TOEFL セミナーA			2	8		
上級 TOEFL セミナーB	2									
合 計				16						

※令和元年度以前に入学した者で、各年度の英語高度化プログラムの「履修表」に記載された科目及びそれ以後新規に開講された当該プログラム対象科目を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で「グローバル・アクティビティ」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で「グローバル・キャリア」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

グローバル・リーダー養成コース履修表

科目区分	分類	授業科目名	単位数	必修	選択必修	選択
全学共通教育科目／教養育成科目	必修科目群	グローバル・リテラシーセミナーⅠ	2	6		
		グローバル・リテラシーセミナーⅡ	2			
		グローバル・リーダーシップ	2			
	指定選択科目群	グローバル・アンダースタANDINGA	2	4		
		グローバル・アンダースタANDINGB	2			
		グローバル・インタラクシヨンA	2			
		グローバル・インタラクシヨンB	2			
		クロスカルチュラル・アンダースタANDINGA	2			
		クロスカルチュラル・アンダースタANDINGB	2			
		グローバル・パースペクティブA	2			
		グローバル・パースペクティブB	2			
		グローバル・キャリアA	2			
		グローバル・キャリアB	2			
		グローバル・テーマA	2			
		グローバル・テーマB	2			
		グローバル・テーマセミナーC	2			
		グローバル・テーマセミナーD	2			
		文化比較セミナーA	2			
		文化比較セミナーB	2			
		キャリア&アイデンティティ	2			
		カルチュラル・アイデンティティ	2			
		異文化理解科目群	国際文化情報A(英語圏)			
	国際文化情報B(英語圏)		2			
	国際文化情報C(英語圏)		2			
	国際文化情報D(英語圏)		2			
	アカデミック・スキル科目群	中級英会話A	2			
		中級英会話B	2			
		アカデミック・リーディングA	2			
		アカデミック・リーディングB	2			
		アカデミック・ライティングA	2			
		アカデミック・ライティングB	2			
		アカデミック・スピーキングA	2			
		アカデミック・スピーキングB	2			
		アカデミック・リスニングA	2			
		アカデミック・リスニングB	2			
	海外研修科目群(国外)	英語海外研修 A(ウォータールー大)	2			
		英語海外研修 B(アーカンソー大)	2			
		英語海外研修 F(セントラルワシントン大学)	2			
		グローバル・アクティビティA	2			
		グローバル・アクティビティB	2			
		グローバル・アクティビティC	2			
		グローバル・アクティビティD	2			
インディビジュアル海外研修		2				
発展科目	選択科目群				6	

外部試験対策科目群	上級 TOEIC セミナー I	2
	上級 TOEIC セミナー II	2
	上級 TOEFL セミナー A	2
	上級 TOEFL セミナー B	2
合 計		16

※令和元年度以前に入学した者で、各年度の英語高度化プログラムの「履修表」に記載された科目及びそれ以後新規に開講された当該プログラム対象科目を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で「グローバル・アクティビティー」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で「グローバル・キャリア」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

(グローバル・エキスパート養成コース)

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 必修科目群から4科目(8単位)、選択科目群から4科目(8単位)以上の合計16単位以上を修得すること。
- 三 下記に指定する英語課外活動に参加し、所定の英語課外活動ポイントを300ポイント以上獲得すること。
- 四 TOEIC(IPを含む)で700点以上を獲得すること。

(グローバル・リーダー養成コース)

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 必修科目群から3科目(6単位)、指定する選択科目群から2科目(4単位)、指定選択科目群を含むその他すべての選択科目群から3科目(6単位)以上の合計16単位以上を修得すること。
- 三 下記に指定する英語課外活動に参加し、所定の英語課外活動ポイントを300ポイント以上獲得すること。
- 四 下記のいずれかの海外研修・留学に参加していること。
 - ア 全学共通教育教養育成科目として開講されている英語海外研修科目
 - イ 英語高度化専門委員会が認めたその他の海外研修・留学
- 五 TOEIC(IPを含む)で800点以上を獲得すること。

英語課外活動ポイント表

	名称	説明	ポイント	単位
英語課外活動	地域貢献活動(英語)	英語による地域貢献活動	25	1/時間
	国際交流活動(英語)	国際交流センター主催の留学生交流会への参加を含む	10	1/時間
	教育協力(英語)	英語教育に関する支援活動	30	1/時間
	教育・研究協力(英語)	英語によるアンケート等への回答	10	1/回
	企画・運営支援(英語)	英語に関するイベント等の企画・運営支援	20	1/時間
	セミナー・ガイダンス等参加(英語)	英語に関するイベント等への参加	30	1/時間
	その他の活動(英語)	英語高度化専門委員会が認めたその他の英語課外活動	10	1/時間
修了要件必要ポイント合計			300以上	

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 英語高度化プログラムの必修科目を4単位修得済み、または履修中であること。
- 三 英語高度化プログラムの選択科目を4単位修得済み、または履修中であること。

2. 環境教育プログラム（16単位）

プログラムの目的

本プログラムは、21世紀を生きる地球市民として環境に関するグローバルで多角的な視野を有し、地域に貢献できる人材養成のための特別副専攻プログラムとする。プログラムを通じて、様々な環境に対する感受性を養うとともに、興味・関心を高めて学際的な知識を獲得し、環境に対して率先して行動できるようになることを目的とする。

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
平成25年度から令和4年度までに入学した者

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和2年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択	
全学共通教育科目／教養育成科目	発展科目	学際分野	環境問題通論A	2	2	/	
			環境問題通論B	2			
			環境教育フィールド科学	2			
	入門科目	自然分野	選択科目	地域開発と環境	2	12	/
				環境の化学	2		
				地球と人間生活	2		
				住まいの科学	2		
				植物の世界	2		
				地域開発と水環境	2		
				光環境と生物	2		
				生物多様性と環境保全	2		
				山陰の自然史	2		
				自然環境の復元	2		
	発展科目	自然分野	選択科目	自然と語ろう	2		
				汽水域船上調査法実習	2		
				汽水域の科学(入門編)	2		
				汽水域の科学(応用編)	2		
				食の守り方のあゆみ	2		
				食の守り方のあゆみB	2		
				中山間地域フィールド演習	2		
	社会人力養成科目	学際分野	選択科目	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
				SDGs概論	2		
	全学開放科目	学際分野	選択科目	技術と社会	2		
農業環境科学				2			
水環境保全学				2			
水圏生態学Ⅰ／水圏生態学				2			
地域資源管理学				2			
林政学				2			
合 計					16		

※コア科目のうち「環境教育フィールド科学」は、コア科目1科目(2単位)および選択科目から4科目(8単位)以上を既に修得した学生のみが受講可能とする。また、既に修得したコア科目・選択科目の成績上位の5科目(10単位)のうち、少なくとも4科目(8単位)以上が「優」以上の評定でなければ「環境教育フィールド科学」を受講することができない。

※令和2年度以前に入学した者で、「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和3年度以前に入学した者で、「魚と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で、「地質と自然環境」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で、「くらしの中の製作技術(前期)」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で、「くらしの中の製作技術(後期)」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成30年度から令和元年度までの入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択		
全学 共通教育科目 ／ 教養育成科目	発展科目	学際分野	コア科目	環境問題通論A	2	2	/	
			環境問題通論B	2				
			環境教育フィールド科学	2				
	入門科目	人文分野	自然分野	選択科目	地域開発と環境	2	12	/
					環境の化学	2		
					地球と人間生活	2		
					住まいの科学	2		
					植物の世界	2		
					地域開発と水環境	2		
					光環境と生物	2		
					生物多様性と環境保全	2		
					山陰の自然史	2		
					自然環境の復元	2		
					自然と語ろう	2		
	発展科目	自然分野	学際分野	選択科目	汽水域船上調査法実習	2	12	/
					汽水域の科学(入門編)	2		
					汽水域の科学(応用編)	2		
					食の守り方のあゆみ	2		
					食の守り方のあゆみB	2		
					中山間地域フィールド演習	2		
					フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
					SDGs概論	2		
					技術と社会	2		
					農業環境科学	2		
	全学 開放 科目	学際分野	社会人力養成科目	選択科目	水環境保全学	2	12	/
					水圏生態学Ⅰ／水圏生態学	2		
					地域資源管理学	2		
林政学					2			
合計					16			

※コア科目のうち「環境教育フィールド科学」は、コア科目1科目(2単位)および選択科目から4科目(8単位)以上を既に修得した学生のみが受講可能とする。また、既に修得したコア科目・選択科目の成績上位の5科目(10単位)のうち、少なくとも4科目(8単位)以上が「優」以上の評定でなければ「環境教育フィールド科学」を受講することができない。

※令和2年度以前に入学した者で、「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和3年度以前に入学した者で、「魚と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で、「地質と自然環境」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で、「くらしの中の製作技術(前期)」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で、「くらしの中の製作技術(後期)」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成25年度から平成29年度までの入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択	
全学共通教育科目／ 教養育成科目	発展科目	学際分野	コア科目	環境問題通論A	2	2	/
				環境問題通論B	2		
				環境教育フィールド科学	2		
	入門科目	自然分野	選択科目	地域開発と環境	2	12	/
				環境の化学	2		
				地球と人間生活	2		
				住まいの科学	2		
				植物の世界	2		
				地域開発と水環境	2		
				光環境と生物	2		
				生物多様性と環境保全	2		
				山陰の自然史	2		
				自然環境の復元	2		
	発展科目	自然分野	選択科目	自然と語ろう	2		
				汽水域船上調査法実習	2		
				汽水域の科学(入門編)	2		
				汽水域の科学(応用編)	2		
				汽水域の科学(応用編)	2		
				中山間地域フィールド演習	2		
				フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
社会人力養成科目	学際分野	選択科目	SDGs概論	2			
			技術と社会	2			
			農業環境科学	2			
全学開放科目	学際分野	選択科目	水環境保全学	2			
			水圏生態学Ⅰ／水圏生態学	2			
			環境経済学	2			
			林政学	2			
			林政学	2			
合 計					16		

※コア科目のうち「環境教育フィールド科学」は、コア科目1科目(2単位)および選択科目から4科目(8単位)以上を既に修得した学生のみが受講可能とする。また、既に修得したコア科目・選択科目の成績上位の5科目(10単位)のうち、少なくとも4科目(8単位)以上が「優」以上の評定でなければ「環境教育フィールド科学」を受講することができない。

※平成26年度以前に入学した者で、自然科学分野で開講される「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※平成27年度以前に入学した者で、「新素材の化学」または「雲から天気を読もう」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※平成28年度以前に入学した者で、「リサイクルの世界」または「山陰の地域に根ざしたエネルギー環境教育」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※平成29年度以前に入学した者で、「木材の科学」、「自然環境論」または「環境調和工学」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和2年度以前に入学した者で、「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和3年度以前に入学した者で、「魚と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で、「地質と自然環境」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和4年度以前に入学した者で、「くらしの中の製作技術(前期)」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目(必修)2科目4単位、選択科目から6科目12単位以上の合計16単位以上を修得すること。
- 三 下記に指定する環境教育課外活動に参加し、所定の環境教育課外活動ポイントを500ポイント以上獲得すること。

環境教育課外活動ポイント表

	名称	説明	ポイント	単位
環境教育 課外活動	地域貢献活動 (環境)	環境に関わる地域貢献活動	25	1/時間
	学内ボランティア 活動(環境)	環境に関わる学内ボランティア活動	20	1/時間
	企画・運営支援 (環境)	環境に関わる学内における企画・運営の支 援活動	20	1/時間
	修了要件必要ポイント合計			500以上

※各々の該当する課外活動について、別途周知する。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を4単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの選択科目を8単位修得済み、または履修中であること。
- 四 本プログラムのコア科目・選択科目から修得済みの成績上位10単位のうち、少なくとも8単位以上が「優」以上の評定を受けていること。

3. ジオパーク学プログラム（8単位）

プログラムの目的

ジオパークとは「地質及び地形、生態系、歴史、文化、景観、人々の暮らしや産業など地質に密接に関連する領域を切り口として整備される“地球と人間のかかわり”を主題とする市民のための自然公園」のことである。本プログラムでは、多様で個性豊かな地域遺産について基礎的な知識を理解し、さらにジオパークを生かして地域活性化を模索・支援することができる学際的な人材を育成することを目的とする。

履修資格

平成24年度以降に入学した者

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続きをしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（平成25年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択	
全学共通教育科目／ 教養育成科目	発展科目	学際分野	コア科目	ジオパーク学入門	2	2	2
				ジオパーク学各論	2	2	
				ジオパーク学演習	2	2	
	入門科目	人文分野	選択科目	古代出雲の考古学	2		
				山陰の歴史-古代・中世-	2		
				山陰の歴史-近世・近現代-	2		
	発展科目	自然分野		山陰の自然史	2		
				汽水域の科学(入門編)	2		
				汽水域の科学(応用編)	2		
				フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
	学際分野	地域博物館へのいざない		2			
		水圏植物学		2			
	全学開放科目						
合 計						8	

※「ジオパーク学各論」は、「ジオパーク学入門」の単位を修得した者でなければ履修することができない。

※「ジオパーク学演習」は、「ジオパーク学入門」及び「ジオパーク学各論」の単位を修得した者でなければ履修することができない。

※平成26年度以前に入学した者で、自然科学分野で開講される「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※平成30年度以前に入学した者で、「島大ミュージアム学」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和元年度以前に入学した者で、「プレートテクトニクス」及び「人類史と考古学」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和2年度以前に入学した者で、「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目（必修）6単位、選択科目（選択）2単位以上の合計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を6単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの選択科目を2単位修得済み、または履修中であること。

4. 中国語実用化プログラム（16単位）

プログラムの目的

本プログラムは、将来、中国など中国語圏（香港・台湾・シンガポールなどを含む）への留学や大学院進学、就職などに中国語を必要とする学生を対象とし、実用的な中国語コミュニケーション能力を保持しつつ、中国語圏の社会・文化についての深い理解と高い見識を備え、仕事で中国語が使える人材を育成することを目的とする。

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。

- 一 平成27年度以降に入学し、中国語Ⅰ・Ⅱ（計4単位）を修得した者。又は、中国語検定試験4級以上、あるいはHSK（筆記）2級以上を取得している者
なお、令和4年度以降入学生のHSK（筆記）については、4級以上を取得している者とする。
- 二 平成26年度以前の入学者で、上記一号の要件を満たし、卒業時までにプログラム修了が見込める者
- 三 上記一号及び二号の規定にかかわらず、中国語を母語とする留学生については、本プログラムを履修することができない。

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続きをしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 本プログラムの履修資格を証明する中国語能力試験の成績等の書類及び修得時期が確認できる書類
- 三 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法
次の履修表により履修すること。

履修表（平成25年度以降入学生用）

科目区分	分類	授業科目名	単位数	選択		
全学共通教育科目／ 教養育成科目	発展科目	選択科目群	異文化理解科目群	国際文化情報A(中国語圏)	2	16
			国際文化情報B(中国語圏)	2		
			現代中国語セミナーA	2		
			現代中国語セミナーB	2		
			中国言語文化論	2		
			国際連携中国語セミナーA	2		
			国際連携中国語セミナーB	2		
			中国語スキルアップセミナーA	2		
			中国語スキルアップセミナーB	2		
			中国語音声セミナー	2		
			中級中国語会話	2		
			中級中国語表現法	2		
			中国語検定セミナー	2		
			中国語検定セミナーB	2		
			ビジネス中国語A	2		
			ビジネス中国語B	2		
		コミュニケーション中国語A	2			
		コミュニケーション中国語B	2			
		中国語グローバル体験科目群（国外）	中国語海外研修 A(北京大学)	2		
			中国語海外研修 B(香港大学等)	2		
			中国語海外研修 C(北京語言大学)	2		
			中国の歴史と文化	2		
		中国語グローバル体験科目群（国内）	中国留学セミナー	2		
		合 計				

※平成29年度以前に入学した者で、「国際文化情報(中国語圏)C」、「国際文化情報(中国語圏)D」、を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 選択科目群から8科目（16単位）以上を修得すること。
- 三 下記に指定する中国語課外活動に参加し、所定の中国語課外活動ポイントを300ポイント以上獲得すること。
- 四 中国語検定試験3級以上、又はHSK（筆記）4級以上の資格を取得すること。（令和3年度以前入学生）
中国語検定試験3級以上、又はHSK（筆記）5級以上の資格を取得すること。（令和4年度以降入学生）

中国語課外活動ポイント表

	名称	説明	ポイント	単位
中国語 課外活動	地域貢献活動(中国語)	中国語による地域貢献活動	25	1/時間
	国際交流活動(中国語)	国際交流センター主催の留学生交流会への参加を含む	10	1/時間
	教育協力(中国語)	中国語教育に関する支援活動	30	1/時間
	教育・研究協力(中国語)	中国語教育に係るアンケート等への回答	10	1/回
	企画・運営支援(中国語)	中国語に関するイベント等の企画・運営支援	20	1/時間
	セミナー・ガイダンス等参加(中国語)	中国語に関するイベント等への参加	30	1/時間
	その他の活動(中国語)	中国語実用化専門委員会が認めたその他の中国語課外活動	10	1/時間
	修了要件必要ポイント合計			300以上

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 中国語実用化プログラムの必修科目を4単位修得済み、または履修中であること。
- 三 中国語実用化プログラムの選択科目を4単位修得済み、または履修中であること。

5. Ruby・OSS履修プログラム（8単位）

プログラムの目的

本プログラムは、実践的なプログラミングの学習と、これを活用するための情報経済・情報産業に関する学習を通じて、実社会の場で活躍することができる高度な人材を育成することを目的とする。

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。

- 一 平成27年度以降に入学し、基礎科目「情報科学」を修得している者
- 二 平成26年度以前の入学者で、基礎科目「情報科学」または基礎教育科目「情報科学概論」「情報科学演習」を修得しており、卒業時までプログラム修了が見込める者

履修手続

本プログラムを履修する者は、次の書類により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和4年度以降入学生用）

科目区分	分類	授業科目名	単位数	必修	選択
教養育成科目	基礎科目群	情報化社会と経済	2	/	4
		Rubyプログラミング	2		
		情報と地域-オープンソースと地域振興-	2		
		全学開放科目	プログラミング入門 I		
成教養科目	応用科目群	開発フレームワーク	2	/	4
		情報経済論	2		
		情報産業論	2		
		全学開放科目	Cプログラミング		
合 計				8	

履修上の注意

- 一 基礎科目群及び応用科目群からそれぞれ2科目以上を履修すること。

履修表（平成30年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
教養 育成 科目	入門科目／ 人文分野	基礎科目群	情報化社会と経済	2		4
	発展科目／ 自然分野		Rubyプログラミング	2		
	社会人力養 成科目		情報と地域-オープンソースと地域振興-	2		
	全学開放科目		プログラミング入門 I	2		
成 教 科 目 育	発展科目／ 自然分野	応用科目群	開発フレームワーク	2		4
	全学開放科目		情報システムと職業	2		
			情報経済論	2		
			情報産業論	2		
			Cプログラミング	4		
合 計					8	

※ 平成30年度以前に入学した者で「mrubyプログラミング」を履修した者は、修了要件単位に含めることができる。

履修上の注意

- 一 基礎科目群及び応用科目群からそれぞれ2科目以上を履修すること。

履修表（平成25年度から平成29年度までの入学生用）

科目区分	分類	授業科目名	単位数	必修	選択
教養 育成 科目	基礎科目群	情報化社会と経済	2	/	4
		Rubyプログラミング	2		
		情報と地域-オープンソースと地域振興-	2		
		全学開放科目	プログラミング入門		
全学開放科目	応用科目群	開発フレームワーク	2	/	4
		情報システムと職業倫理	2		
		情報経済論	2		
		情報産業論	2		
		CプログラミングB	2		
		専門教育科目	CプログラミングA		
合 計				8	

※ 平成30年度以前に入学した者で「rrubyプログラミング」を履修した者は、修了要件単位に含めることができる。

履修上の注意

- 一 基礎科目群及び応用科目群からそれぞれ2科目以上を履修すること。
- 二 Cプログラミングに係る科目を履修する場合は、次のとおりとする。
 - イ 総合理工学部数理・情報システム学科情報分野の者は、次の科目を履修すること。
 - (1) 平成27年度以降入学生 「CプログラミングA」（4単位）
 - (2) 平成25年度から平成26年度入学生 「CプログラミングA」（2単位）
 - ロ イ以外の者は、「CプログラミングB」を履修すること。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、基礎科目群から2科目（4単位）、応用科目群から2科目（4単位）以上の合計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムの基礎科目群を4単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの応用科目群を4単位修得済み、または履修中であること。

6. 数理・データサイエンス基礎プログラム（8単位）

プログラムの目的

数理・データサイエンスについての初歩的事項を学び、データの分析において重要な概念を身につけ、身近な問題に活かす力を持つ人材を育成することを目的とする。

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。

- 一 平成31年度以降に入学した者
- 二 平成30年度以前の入学者で、卒業時までプログラム修了が見込める者

履修手続

本プログラムを履修する者は、次の書類により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和5年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択				
成 教 科 養 育	入門科目	学際分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	Excelによるデータ分析入門	2		2				
	入門科目	自然科学分野		データサイエンス基礎	2						
	発展科目	自然科学分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	統計検定セミナー初級	2		2				
	全学開放科目			データ解析の数理	2						
		統計学		2							
		社会調査Ⅰ		2							
		データサイエンスⅠ		2							
		確率論・統計学Ⅱ		2							
成 科 育	入門科目	自然科学分野		数理・データサイエンスの実践的・理論的科目	実験データ解析入門			2		4	
	発展科目	学際分野			教育研究のための統計法			2			
全学開放科目		数理統計学Ⅰ			2						
		数理統計学Ⅱ			2						
		農業経済統計解析学	2								
		農業のための生物統計学	2								
		水文統計学	2								
		社会調査Ⅱ	2								
		数学科教育法特講	2								
		算数科内容構成研究	2								
		スポーツ心理学実験	1								
		社会学応用A	2								
		社会学応用B	2								
		経済統計処理論	2								
		疫学・統計学	2								
		合 計						8			

履修表（令和3年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択						
成 教 科 養 育 目	入 門 科 目	学 際 分 野	数 理 ・ デ ー タ サ イ エ ン ス に 関 す る 基 礎 的 科 目	Excelによるデータ分析入門	2	/	2						
				データサイエンス基礎	2								
				オープンデータ分析A/B	2								
	発 展 科 目	自 然 学 科 分 野		統計検定セミナー初級	2	/	2						
		自 然 学 科 分 野		データ解析の数理	2								
	全 学 開 放 科 目			統計学	2								
				社会調査Ⅰ	2								
				データサイエンスⅠ	2								
				確率論・統計学Ⅱ	2								
				実験データ解析入門	2								
成 教 科 養 育 目	入 門 科 目	自 然 学 科 分 野	数 理 ・ デ ー タ サ イ エ ン ス の 実 践 的 ・ 理 論 的 科 目	教育研究のための統計法	2			/	4				
	発 展 科 目	学 際 分 野		数理統計学Ⅰ	2								
全 学 開 放 科 目				数理統計学Ⅱ	2								
				農業経済統計解析学	2								
				農業のための生物統計学	2								
				水文統計学	2								
				社会調査Ⅱ	2								
				数学科教育法特講	2								
				算数科内容構成研究	2								
				スポーツ心理学実験	1								
				社会学応用A	2								
				社会学応用B	2								
				経済統計処理論	2								
				疫学・統計学	2								
				合 計								8	

※令和3年度以前に入学した者で、「森林統計学」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成30年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択		
教養育成科目	発展科目	学際分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	数理・データサイエンス入門	2		2		
				Excelによるデータ分析入門	2				
				データサイエンス基礎	2				
	入門科目	学際分野		オープンデータ分析A/B	2		2		
		自然科学分野		統計検定セミナー初級	2				
	発展科目	自然科学分野		データ解析の数理	2				
				統計学	2				
	全学開放科目			社会調査Ⅰ	2				
				データサイエンスⅠ	2				
				確率論・統計学Ⅱ	2				
実験データ解析入門				2					
成 教 科 養 目 育	入門科目	自然科学分野	数理・データサイエンスの実践的・理論的科目	教育研究のための統計法	2	4			
	発展科目	学際分野		数理統計学Ⅰ	2				
全学開放科目				数理統計学Ⅱ	2				
				農業経済統計解析学	2				
				農業のための生物統計学	2				
				水文統計学	2				
				社会調査Ⅱ	2				
				数学科教育法特講	2				
				算数科内容構成研究	2				
				スポーツ心理学実験	1				
			社会学応用A	2					
			社会学応用B	2					
			経済統計処理論	2					
			疫学・統計学	2					
			合 計						8

※令和3年度以前に入学した者で、「森林統計学」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成29年度入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択	
教養育成科目	発展科目	学際分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	数理・データサイエンス入門	2		2	
				Excelによるデータ分析入門	2			
				データサイエンス基礎	2			
	入門科目	学際分野		オープンデータ分析A/B	2		2	
		自然科学分野		統計検定セミナー初級	2			
	発展科目	自然科学分野		データ解析の数理	2			
				統計学	2			
	全学開放科目			社会調査Ⅰ	2			
				応用情報学特論Ⅰ	2			
				確率論・統計学Ⅱ	2			
実験データ解析入門				2				
成 教 科 養 目 育	入門科目	自然科学分野	数理・データサイエンスの実践的・理論的科目	教育研究のための統計法	2	4		
	発展科目	学際分野		数理統計学Ⅰ	2			
全学開放科目				数理統計学Ⅱ	2			
				経済統計解析学	2			
				生物統計学	2			
				水文統計学	2			
				社会調査Ⅱ	2			
				数学科教育法特講	2			
				算数科内容構成研究	2			
				スポーツ心理学実験	1			
			社会学応用研究A	2				
			社会学応用研究B	2				
			経済統計処理論	2				
			疫学・統計学	2				
			専門教育科目	確率・統計	2			
			合 計					

※令和3年度以前に入学した者で、「森林統計学」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成25年度から平成28年度入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択						
教養育成科目	発展科目	学際分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	数理・データサイエンス入門	2	/	2						
				Excellによるデータ分析入門	2								
	データサイエンス基礎	2											
	オープンデータ分析A/B	2											
入門科目	学際分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目		統計検定セミナー初級	2	/	2						
	自然科学分野	データ解析の数理		2									
発展科目	自然科学分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目		統計学	2								
				社会調査Ⅰ	2								
全学開放科目				応用情報学特論Ⅰ	2								
				確率論・統計学Ⅱ	2								
				全学開放科目	入門科目			自然科学分野	実験データ解析入門	2	/	4	
									発展科目	学際分野			教育研究のための統計法
全学開放科目	数理・データサイエンスの実践的・理論的科目		数理統計学Ⅰ		2								
			数理統計学Ⅱ		2								
			経済統計解析学		2								
			生物統計学		2								
			水文統計学		2								
			社会調査Ⅱ		2								
		数学科教育法特講	2										
		算数科内容構成研究	2										
		スポーツ心理学実験	1										
		社会学応用研究A	2										
		社会学応用研究B	2										
		経済情報処理論	2										
専門教育科目		確率・統計	2										
合 計							8						

※令和3年度以前に入学した者で、「森林統計学」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修上の注意

「数理統計学Ⅰ」と「確率・統計」について

- 一 総合理工学部機械・電気電子工学科及び建築・生産設計工学科の者は「確率・統計」を履修すること。
- 二 上記一以外の者は「数理統計学Ⅰ」を履修すること。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、数理・データサイエンスに関する基礎的科目から必修2単位、選択2単位の計4単位、数理・データサイエンスの実践的・理論的科目から4単位以上の合計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 数理・データサイエンス基礎プログラムの必修科目を2単位修得済み、または履修中であること。
- 三 数理・データサイエンス基礎プログラムの選択科目を6単位修得済み、または履修中であること。

7. 数理・データサイエンス専門プログラム（16単位）

プログラムの目的

数理・データサイエンスについての初歩的な知識，大学基礎統計学の知識，及び数理的思考力を身に付け，現実的な問題を解決する能力を持つ人材を育成することを目的とする。

履修資格

本プログラムの履修資格は，次のとおりとする。

- 一 平成31年度以降に入学した者
- 二 平成30年度以前の入学で，卒業時までにはプログラム修了が見込める者

履修手続

本プログラムを履修する者は，次の書類により，履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和5年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択
成 育 科	入門科目	自然科学分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	統計検定セミナー初級	2	/	4
	発展科目	自然科学分野		データ解析の数理	2		
	全学開放科目			データサイエンスⅠ	2		
教 養 育 成 科 目	入門科目	自然科学分野	数理科学の基礎的科目	初級線形代数学Ⅰ	2	/	4
				ベクトルと行列	2		
	全学開放科目			実用線形代数学Ⅰ	2		
				実用線形代数学Ⅱ	2		
				行列と行列式Ⅰ	2		
				行列と行列式Ⅱ	2		
				基礎線形代数学ⅠA	2		
				基礎線形代数学ⅠB			
				基礎線形代数学ⅠC	2		
				基礎線形代数学Ⅱ			
基礎数学Ⅰ	2						
全学開放科目		数理・データサイエンスの実践的・理論的科目	数理統計学Ⅰ	2	/	4	
			数理統計学Ⅱ	2			
			保険数理	2			
			データサイエンスⅡ	2			
			データサイエンスⅢ	2			
全学開放科目		数理科学の実践的科目	現象数理Ⅰ	2	/	4	
			現象数理Ⅱ	2			
			現象数理Ⅲ	2			
全学開放科目		データサイエンスの倫理的科目	情報と社会・倫理	2	/	4	
			人間と工学	2			
合 計							16

履修表（令和4年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択
成 教 科 養 目 育	入門科目	自然科学分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	統計検定セミナー初級	2	/	4
	発展科目	自然科学分野		データ解析の数理	2		
全学開放科目				データサイエンスⅠ	2		
教 養 育 成 科 目	入門科目	自然科学分野		数理学の基礎的科目	初級線形代数学Ⅰ		
			初級線形代数学Ⅱ		2		
			ベクトルと行列		2		
	全学開放科目	実用線形代数学Ⅰ	2				
		実用線形代数学Ⅱ	2				
		行列と行列式Ⅰ	2				
		行列と行列式Ⅱ	2				
		基礎線形代数学ⅠA	2				
		基礎線形代数学ⅠB					
		基礎線形代数学ⅠC	2				
		基礎線形代数学Ⅱ					
基礎数学Ⅰ	2						
全学開放科目	自然科学分野	数理・データサイエンスの実践的・理論的科目	数理統計学Ⅰ	2	/	4	
			数理統計学Ⅱ	2			
			保険数理	2			
			データサイエンスⅡ	2			
			データサイエンスⅢ	2			
全学開放科目	自然科学分野	数理学の実践的科目	現象数理Ⅰ	2	/	4	
			現象数理Ⅱ	2			
			現象数理Ⅲ	2			
全学開放科目	自然科学分野	データサイエンスの倫理的科目	情報と社会・倫理	2	/	4	
			人間と工学	2			
合 計							16

履修表（令和3年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択
成 教 科 養 目 育	入門科目	自然科学分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	統計検定セミナー初級	2	/	4
	発展科目	自然科学分野		データ解析の数理	2		
全学開放科目				データサイエンス基礎	2		
全学開放科目				データサイエンスⅠ	2		
教 養 育 成 科 目	入門科目	自然科学分野	数理学の基礎的科目	初級線形代数学Ⅰ	2	/	4
				初級線形代数学Ⅱ	2		
				ベクトルと行列	2		
	全学開放科目	実用線形代数学Ⅰ		2			
		実用線形代数学Ⅱ		2			
		行列と行列式Ⅰ		2			
		行列と行列式Ⅱ		2			
		基礎線形代数学ⅠA		2			
		基礎線形代数学ⅠB					
		基礎線形代数学ⅠC		2			
		基礎線形代数学Ⅱ					
基礎数学Ⅰ	2						
全学開放科目	自然科学分野	数理・データサイエンスの実践的・理論的科目	数理統計学Ⅰ	2	/	4	
			数理統計学Ⅱ	2			
			保険数理	2			
			データサイエンスⅡ	4			
			IT産業論	2			
			確率・統計	2			
専門教育科目							
全学開放科目	自然科学分野	数理学の実践的科目	現象数理Ⅰ	2	/	4	
			現象数理Ⅱ	2			
			現象数理Ⅲ	2			
全学開放科目	自然科学分野	データサイエンスの倫理的科目	情報システムと職業	2	/	4	
			情報と社会・倫理	2			
			人間と工学	2			
合 計							16

履修表（平成30年度以降入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択
成 教 目 育	発展科目	学際分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	数理・データサイエンス入門	2	2	2
	入門科目	自然科学分野		統計検定セミナー初級	2		
	発展科目	自然科学分野		データ解析の数理	2		
	全学開放科目			データサイエンス I	2		
成 教 目 育	入門科目	自然科学分野	数理科学の基礎的科目	初級線形代数学 I	2	4	4
				初級線形代数学 II	2		
				ベクトルと行列	2		
	全学開放科目	実用線形代数学 I		2			
		実用線形代数学 II		2			
		行列と行列式 I		2			
		行列と行列式 II		2			
		基礎線形代数学 I A		2			
		基礎線形代数学 I B					
		基礎線形代数学 I C		2			
		基礎線形代数学 II					
基礎数学 I	2						
全学開放科目	数理・データサイエンスの実践的・理論的科目	数理科学の基礎的科目	数理統計学 I	2	4	4	
			数理統計学 II	2			
			保険数理	2			
			データサイエンス II	4			
			IT産業論	2			
専門教育科目	確率・統計	2					
全学開放科目	数理科学の実践的科目	数理科学の基礎的科目	現象数理 I	2	4	4	
			現象数理 II	2			
			現象数理 III	2			
全学開放科目	データサイエンスの倫理的科目	数理科学の基礎的科目	情報システムと職業	2	4	4	
			情報と社会・倫理	2			
			人間と工学	2			
合 計						16	

履修表（平成25年度から平成29年度までの入学生用）

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択
成 教 目 育	発展科目	学際分野	数理・データサイエンスに関する基礎的科目	数理・データサイエンス入門	2	2	2
	入門科目	自然科学分野		統計検定セミナー初級	2		
	発展科目	自然科学分野		データ解析の数理	2		
	全学開放科目			応用情報学特論 I	2		
成 教 目 育	入門科目	自然科学分野	数理科学の基礎的科目	初級線形代数学 I	2	4	4
				初級線形代数学 II	2		
				ベクトルと行列	2		
	全学開放科目	実用線形代数学 I A		2			
		実用線形代数学 II A		2			
		行列と行列式 I A		2			
		行列と行列式 I B					
		行列と行列式 II A		2			
		行列と行列式 II B					
		基礎線形代数学 I A		2			
		基礎線形代数学 I B					
基礎線形代数学 I C							
基礎線形代数学 II	2						
応用情報学特論 III	2						
全学開放科目	数理・データサイエンスの実践的・理論的科目	数理科学の基礎的科目	数理統計学 I	2	4	4	
			数理統計学 II	2			
			計算機科学特論 II	2			
			情報数学 III	2			
			IT産業論	2			
専門教育科目	確率・統計	2					
全学開放科目	数理科学の実践的科目	数理科学の基礎的科目	計算数学 I	2	4	4	
			マルチメディア数学 I	2			
			マルチメディア数学 II	2			
全学開放科目	データサイエンスの倫理的科目	数理科学の基礎的科目	情報システムと職業倫理	2	4	4	
			情報と産業・社会	2			
合 計						16	

履修上の注意

「数理統計学Ⅰ」と「確率・統計」について

- 一 総合理工学部機械・電気電子工学科及び建築・生産設計工学科の者は「確率・統計」を履修すること。
- 二 上記一以外の者は「数理統計学Ⅰ」を履修すること。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、次のとおり単位を修得すること。

(令和3年度以降入学生)

数理・データサイエンスに関する基礎的科目から選択4単位、数理・データサイエンスの実践的・理論的科目から4単位、数理科学の実践的科目またはデータサイエンスの倫理的科目から4単位以上の合計16単位以上を修得すること。

(令和2年度以前入学生)

数理・データサイエンスに関する基礎的科目から必修2単位、選択2単位の計4単位、数理科学の基礎的科目から4単位、数理・データサイエンスの実践的・理論的科目から4単位、数理科学の実践的科目またはデータサイエンスの倫理的科目から4単位以上の合計16単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 数理・データサイエンス専門プログラムの必修科目を2単位修得済み、または履修中であること。
- 三 数理・データサイエンス専門プログラムの選択科目を14単位修得済み、または履修中であること。

8. ものづくり人材育成プログラム（8単位）

プログラムの目的

本プログラムは、材料やものづくりに関連する科目、及びビジネス論や技術者倫理に関連する科目の学習を通して、実社会の場、特に島根県の主要産業の一つである金属関連分野などのものづくり産業で活躍することができる起業家精神を持ったものづくり人材を育成することを目的とする。

履修資格

平成28年度以降に入学した者

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和5年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
教養科目 科目育成	発展科目	自然分野	たたらと現代製鋼（推奨科目）	2	/	2～4
	社会人力養成科目	コア科目	実例ビジネス開発論	2		
全学開放科目			知的財産権法	2		
			技術と社会	2		
教養科目 科目育成	発展科目	自然分野	物理学の世界	2	/	4～6
	入門科目	自然分野	機械の歴史	2		
			電気・通信技術の歩み	2		
			エレクトロニクスのはなし	2		
			反応の化学	2		
	全学開放科目		材料科学序論	2		
材料科学から社会を見る			2			
合 計					8	

履修表（平成28年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
教養科目 科目育成	発展科目	自然分野	たたらと現代製鋼（推奨科目）	2	/	2～4
	社会人力養成科目	コア科目	実例ビジネス開発論	2		
全学開放科目			知的財産権法	2		
			技術と社会	2		
教養科目 科目育成	発展科目	自然分野	物理学の世界	2	/	4～6
	入門科目	自然分野	機械の歴史	2		
			電気・通信技術の歩み	2		
			材料科学序論	2		
			構造材料学基礎	2		
	合 計					

修了要件

次の要件をすべて満たすこと

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目2単位以上、選択科目4単位以上、計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を2単位以上、選択科目を4単位以上、計8単位以上を修得済み、または履修中であること。

9. 自然災害軽減科学プログラム（8単位）

プログラムの目的

日本では地震、津波、火山、洪水など、さまざまな自然災害が発生している。山陰地域をとってみても、地すべりや洪水などの災害が多く発生している。こうした状況を踏まえると、災害や災害を軽減するための知識とその利活用は重要である。本プログラムでは、自然災害についての基礎的知識を修得し、その知識を利活用できる人材の育成を目指す。

履修資格

平成25年度以降に入学した者

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書(別紙様式)
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表（令和4年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
全学共通教育科目	発展科目	自然科学分野	山陰地域の自然災害	2	2	6
	入門科目	自然科学分野	地球と人間生活	2		
			地域開発と水環境	2		
	発展科目	学際分野	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
全学開放科目		選択科目	自然地理学概論	2		
			自然地理学特論	2		
			地理情報システム	2		
			自然災害科学概論	1		
			自然災害学	2		
合計					8	

※令和元年度以前に入学した者で、「プレートテクトニクス」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和2年度以前に入学した者で、「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成30年度以降入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
全学共通教育科目	発展科目	自然科学分野	山陰地域の自然災害	2	2	6
	入門科目	自然科学分野	地球と人間生活	2		
			地域開発と水環境	2		
	発展科目	学際分野	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
全学開放科目		選択科目	自然地理学概論	2		
			自然地理学特論	2		
			地理情報システム	2		
			自然災害科学概論	2		
			自然災害学	2		
合計					8	

※令和元年度以前に入学した者で、「プレートテクトニクス」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和2年度以前に入学した者で、「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

履修表（平成25年度から平成29年度までの入学生用）

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択	
養育全 育科共 成目通 目教	発展科目	自然科学分野	コア科目	山陰地域の自然災害	2	2	6
	入門科目	自然科学分野		地球と人間生活	2		
	発展科目	学際分野		地域開発と水環境	2		
				フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
全学開放科目		選択科目		自然地理学概論	2		
				自然地理学特論	2		
				地理情報システム	2		
				自然災害工学概論	2		
				自然災害学	2		
合 計					8		

※平成26年度以前に入学した者で、自然科学分野で開講した「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和元年度以前に入学した者で、「プレートテクトニクス」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

※令和2年度以前に入学した者で、人文社会科学分野で開講した「山と日本人」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目（必修）2単位、選択科目（選択）6単位以上の合計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を2単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの選択科目を2単位修得済み、または履修中であること。

10. 観光教育プログラム（8単位）

プログラムの目的

本プログラムでは、観光とは何かを多様な視点から理解するとともに、体験的な学習を通じて観光に関する実践知を獲得することを目指す。また、受講者自身の専門が観光にどのように関わることができるのかを展望し、観光に意欲的に取り組むことができるようになることを目指す。

履修資格

本プログラムの履修資格は、次のとおりとする。
平成30年度以降に入学した者

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続きをしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目、履修方法、修了要件及び履修証明書交付要件

【令和5年度以降入学生用】

履修表

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択
全学共通教育科目／ 教養育成科目	入門科目	人文社会	観光概論	2	2	
	社会人力養成科目		観光地域経営論	2	2	
			観光実践	2	2	
	入門科目	学際	アントレプレナーシップ入門セミナー	2	2	2
	発展科目	人文社会	異文化理解入門A	2		
		学際	島根学	2		
			地域博物館へのいざない	2		
			グローバル課題解決型研修(タイ:観光開発の現状と課題)	2		
			ジオパーク学入門	2		
			フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2		
	社会人力養成科目		島根の企業と経済	2		
			実例ビジネス開発論-社会構造の変化に対応する新しい価値の共創	2		
合 計					8	

※「観光実践」は、必修科目4単位を修得済みかつ選択科目2単位を修得済みまたは履修中の者でなければ履修することができない。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目（必修）6単位、選択科目（選択）2単位以上の合計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を6単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの選択科目を2単位修得済み、または履修中であること。

【令和4年度入学生用】

履修表

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択	
全学共通教育科目／ 教養育成科目	入門科目	人文社会	観光概論	2	2		
			観光学入門	2			
	社会人力養成科目		コア科目	観光の展開－新しい観光の発掘－	2	2	
				観光地域経営論	2		
				観光実践	2	2	
	入門科目	学際	選択科目	アントレプレナーシップ入門セミナー	2		2
	発展科目			国際文化情報A(英語圏)	2		
				国際文化情報A(ドイツ語圏)	2		
				国際文化情報A(フランス語圏)	2		
				国際文化情報A(中国語圏)	2		
				国際文化情報A(韓国・朝鮮語圏)	2		
				国際文化情報B(英語圏)	2		
				国際文化情報B(ドイツ語圏)	2		
				国際文化情報B(フランス語圏)	2		
				国際文化情報B(中国語圏)	2		
				国際文化情報B(韓国・朝鮮語圏)	2		
				国際文化情報C(英語圏)	2		
				国際文化情報C(ドイツ語圏)	2		
				国際文化情報C(フランス語圏)	2		
				国際文化情報C(韓国・朝鮮語圏)	2		
				国際文化情報D(英語圏)	2		
				国際文化情報D(ドイツ語圏)	2		
				国際文化情報D(フランス語圏)	2		
				国際文化情報D(韓国・朝鮮語圏)	2		
				異文化理解入門A	2		
学際				島根学	2		
		地域博物館へのいざない		2			
		グローバル課題解決型研修(タイ:観光開発の現状と課題)		2			
		ジオパーク学入門		2			
社会人力養成科目		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」		2			
		島根の企業と経済		2			
		実例ビジネス開発論-社会構造の変化に対応する新しい価値の共創	2				
合 計					8		

※「観光実践」は、必修科目4単位を修得済みかつ選択科目2単位を修得済みまたは履修中の者でなければ履修することができない。

※令和4年度以前に入学した者で、「異文化理解入門」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目（必修）6単位、選択科目（選択）2単位以上の合計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を6単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの選択科目を2単位修得済み、または履修中であること。

【平成30年度以降入学生用】

履修表

科目区分		分類	授業科目名	単位数	必修	選択	
全学共通教育科目／教養育成科目	入門科目	人文社会	コア科目	観光概論	2	2	
				観光学入門	2		
		社会人力養成科目		観光実践	2		
	入門科目	学際	選択科目	アントレプレナーシップ入門セミナー	2	4	
	発展科目	人文社会		国際文化情報A(英語圏)	2		
				国際文化情報A(ドイツ語圏)	2		
				国際文化情報A(フランス語圏)	2		
				国際文化情報A(中国語圏)	2		
				国際文化情報A(韓国・朝鮮語圏)	2		
				国際文化情報B(英語圏)	2		
				国際文化情報B(ドイツ語圏)	2		
				国際文化情報B(フランス語圏)	2		
				国際文化情報B(中国語圏)	2		
				国際文化情報B(韓国・朝鮮語圏)	2		
				国際文化情報C(英語圏)	2		
				国際文化情報C(ドイツ語圏)	2		
				国際文化情報C(フランス語圏)	2		
				国際文化情報C(韓国・朝鮮語圏)	2		
				国際文化情報D(英語圏)	2		
				国際文化情報D(ドイツ語圏)	2		
				国際文化情報D(フランス語圏)	2		
				国際文化情報D(韓国・朝鮮語圏)	2		
		学際		異文化理解入門A	2		
				島根学	2		
				地域博物館へのいざない	2		
				グローバル課題解決型研修(タイ:観光開発の現状と課題)	2		
				ジオパーク学入門	2		
		フィールドで学ぶ「斐伊川百科」		2			
		観光の展開－新しい観光の発掘－		2			
		観光地域経営論		2			
		島根の企業と経済	2				
		実例ビジネス開発論-社会構造の変化に対応する新しい価値の共創	2				
合 計					8		

※「観光実践」は、必修科目2単位を修得済みかつ選択科目4単位を修得済みまたは履修中の者でなければ履修することができない。

※令和4年度以前に入学した者で、「異文化理解入門」を修得した者は、修了要件単位数に含めることができる。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目（必修）4単位、選択科目（選択）4単位以上の合計8単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を4単位修得済み、または履修中であること。
- 三 本プログラムの選択科目を4単位修得済み、または履修中であること。

11. フィールド教育プログラム（10単位）

フィールド教育プログラム ～森林から耕地、海へ～（10単位）

プログラムの目的

フィールド教育プログラムは、私達の生活が自然との共生の中で成り立っていることへの理解を深め、地域に貢献できる人材養成のためのプログラムである。生物資源科学部附属生物資源科学教育研究センターの三瓶演習林、本庄総合農場、神西砂丘農場、隠岐臨海実験所でのフィールドワークを中心に「森林から耕地、海」に至る物質の流れ、基礎的概念、現状と課題について、総合的に理解することを目的とする。

履修資格

令和2年度以降に入学した者

履修手続

本プログラムを履修する者（以下「履修者」という。）は、次の各号に掲げる書類により、履修手続をしなければならない。

- 一 本プログラム履修申請書（別紙様式）
- 二 その他本学が必要と認める書類

構成する授業科目及び履修方法

次の履修表により履修すること。

履修表

科目区分			分類	授業科目名	単位数	必修	選択
全学開放科目			コア科目	基礎フィールド演習	2	2	4
			選択科目	耕地栽培学	2		
				基礎土壌学	2		
				森林植物学	2		
				森林水文学	2		
				水圏生態学	2		
				発生物学	2		
発展科目	自然分野	選択科目	自然と語ろう	2		4	
			自然環境の復元	2			
			フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	2			
合 計						10	

※「基礎フィールド演習」は、選択科目（選択）2科目（4単位）を修得した者でなければ履修することができない。ただし、生物資源科学部の学生は除く。

修了要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 所属する学部・学科又は課程の卒業要件を満たすこと。
- 二 上記履修表により履修し、コア科目（必修）2単位、選択科目（選択）8単位以上の合計10単位以上を修得すること。

履修証明書交付要件

次の要件をすべて満たすこと。

- 一 3年次以上の学生であること。
- 二 本プログラムのコア科目を2単位修得済み、または履修中であること。